



# 岩田小学校 P T A 通信

令和3年度12月号  
その1  
2021年12月17日  
発行：岩田小学校PTA役員会

11月13日(土)第2回資源回収を行いました。  
学校含め校区内12か所にて回収した今回の成果は、紙類：3,500kg、衣類：720kg、アルミ缶：52kg、全部で10,530円になりました。  
各拠点でご対応いただいたPTA委員さん、回収品を持ち込んでいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。  
このお金は学用品等に使用させていただきます。  
また、今回も回収場所に段ボールなどをまとめてくれた山びこ学級の皆さん、お手伝いありがとうございました。  
なお、段ボール、牛乳パック、アルミ缶は常時学校でも回収しています。  
ご協力をお願いします。

(資源回収担当：PTA役員 盛田)



各地区のPTA委員さんはもとより、ご家族や地域の方々もお手伝いいただきました。  
ありがとうございました。



先生方も資源回収に参加していますが、回収車が来るまでの間に、いろいろなお話をしたり、お子さんの相手をしていただいたり・・・  
これも、PTA活動をする中で楽しさかと思えます。

第2回資源回収  
11月13日  
(土)



←今回も山びこ学級のみんなに感謝状を贈らせていただきました。「がんばったよ～」でVサイン!

## 資源回収 その後の 何それ! すごいな! 的な話 ぱーと2

皆さん、資源回収のお知らせに、『アルミ缶はつぶさない』とあるのをご存じでしょうか? どの程度? 少々つぶれてしまったけど大丈夫? など疑問に思われるかと思えます。  
トーヨーメタルさんに伺ったところ、『回収後に中を洗うため、洗える程度につぶれなら可』とのことでした。アルミ缶は回収後、中を洗浄し、箱状の塊にプレスして出荷します。この塊を高温釜を持つ業者が溶かして薄いアルミ板まで戻し、またアルミ缶を製造するのです。

アルミは、ボーキサイトという鉱石から作られますが、鉱石からアルミを作るエネルギーを100%とすると、リサイクルでアルミを作るエネルギーはわずか3%です。さらにボーキサイトは日本では採れず、オーストラリアなどの輸入に100%頼っているため、その採掘や輸送などでもエネルギーや二酸化炭素を排出することになります。アルミ缶をリサイクルすることは資源の有効利用や地球環境保全に意義のあることなのです。



←トーヨーメタルさんがプレスしたアルミ缶の塊がコレ! 見事にベシャンコです。



とてもいい天気で絶好の運動会日和でしたね!  
当初は5月開催でしたがコロナ禍での緊急事態宣言を受け、11月に順延となりました。「できるだけことを子どもたちに経験させたい」という先生方の想いを乗せて、例年とは違う形での開催となりました。子どもたちのキラキラ輝く姿を間近で見ることができ、成長と努力の跡を見られて感動する運動会となりました。  
また、保護者の皆様にもリストバンド装着、観覧時の入れ替えなど、ご協力いただいたこと感謝申し上げます。ありがとうございました。

(運動会担当：PTA副会長補佐 鈴木)

←PTAとして、各門の警備・誘導、駐輪場の整理整頓、使用トイレの巡回・清掃、終了後の後片付けなど行いました。ご協力をいただきましたPTA委員、こくさい委員、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



↑6年生は最後の運動会。「転んでも立ち上がれ! 心を燃やし真剣勝負の大合戦!」その名のとおり、すばらしい集大成を魅せてくれました! 岩田っ子しか勝たん!



←保護者の皆様にご協力いただきましたリストバンドを用いた観覧時の入れ替え制もおむね好評でした。ありがとうございました。

運営のお手伝いいただいた委員さんからの感想・ご意見です。

- ☆トラックの周囲に椅子がなかったのととても観覧しやすかったのが良かった。色バンドで区別し、演技中の学年の保護者が優先なのは分かりやすい。
- ☆担当が外トイレ掃除でしたがホースがあると便利だと思いました。バケツもありましたが水道にあわないのでやりにくかったです。汚物入れには最初からビニールを入れてあるといいと思いました。
- ☆体育館のトイレは運動会の朝からすでに汚かったです。便器にはピンクカビもついており、日頃の学校のトイレの清掃に疑問を感じました。
- ☆徒競走のとき、(コロナ禍なので)大きな声を出して応援ができず残念だなと思いました。
- ☆西門がの施設がされていたにもかかわらず登って入ってしまう方がいたので、施設されていて入れない事も保護者の方にリストバンドと同じ紙面で伝えたりした方が良かったのかな? と思いました。
- ☆正門に立っていると自転車で斜めに入ってくる方がちらほらいたので、危ないと思い自転車の方は東門の方へ案内しました。そういったルールがあると安全かと思いました。
- ☆色分けリストバンドがとてもよかったと思います。

※事後アンケートより抜粋

# 東三河地区学校保健研究大会に行ってきました

11月18日(木) ライフポートとよはし、にて東三河地区学校保健研究大会にPTA役員として参加をさせていただきました。記念講演と研究発表の2部構成で行われ、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの「健康に生きる力」を育むために、どのような取り組みが必要か。様々な問題についての研究成果を聞くことができました。



記念講演では、「子どものネット依存とゲーム障害」について、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 樋口進院長先生より、スマートフォンやオンラインゲームなど、インターネットを中心とした環境が与える影響などを、医療という見地からご説明いただきました。

ネット・ゲーム依存が及ぼす問題は身体的・精神的健康、学業や仕事、家族、対人関係、金銭など多岐に渡ります。依存という名で治療を要す状態までにならないために、一人の親としてまず使用状況を把握すること。ただ単に禁止、取り上げるのではなく、使用時間や使用場所などルールと一緒に決め、家族も取り組むこと。ゲームやネットの優先順位を2番以下にできるように、他の活動に置き換えていくことなどが改善の目標となります。

このことは子どもだけの問題ではなく、大人である私たちにも起こり得ることで、もしや!と思うところがたくさんあると思います。身の回りに当たり前のように普及したネット環境と上手に付き合い、使用することが大切です。

研究発表では、豊橋市学校保健会から「子どもたちの安全・安心を守るteam豊橋養護教諭を旨として~OJTを活用したリスクマネジメントの取り組みを通して~」と題し、市内の養護教諭の先生方の学び合いの成果発表がありました。

- ・食物アレルギー、重度のけが、熱中症など緊急時の対応
- ・感染症予防とその処置
- ・校内組織との連携や病院等との連携・記録の共有など

各テーマに対し、話し合い、シミュレーション研修を行い、学校全体が安全への意識を持ち続けることの大切さ、私たち保護者も学校、先生方の取り組みを知ること、逆に家庭でできることはないか、情報の共有を図ることはできないだろうか、と考えるきっかけとなりました。

こうした先生方のたゆまぬ研鑽が、子どもたちの安全につながっているのだと思いました。



## 岩田小学校授業後サークル活動(報告)

10月30日(土)に岩田校区音楽祭にて金管バンドサークルがこれまで練習してきた2曲の演奏発表をしました。金管バンドサークルは3月から活動を開始し、この音楽祭で第1期の活動を終了しました。活動途中で指導者が松下先生に変わりましたが、コロナ禍で思うように練習ができない中でも子ども達に丁寧に指導して下さり感謝しています。7月にはサッカーサークルが豊川高校で高校生との合同練習イベントを行いました。高校生との交流の中で楽しい一時を過ごすことができました。ダンスサークルも音楽祭やダンスイベントに参加し、練習の成果を発表しています。この他にも月に一度、料理サークルを講師を招いて行われています。部活動が廃止された今、学年を超えて同じ学校の仲間と目標をもって活動できる機会は限られています。今後も活発に活動していきますので、活動に興味のある方は見学に来てみてください。

(令和2年度PTA会長 篠原)



## 先生に聞こう!第5弾

学校にはいつも楽しい用務員さんがいるよ。どんな人かな?ということで今回は中野さん、長浜さんに、ズバリ!聞いてみました。



鳥井: 本日はお忙しい中ありがとうございます。

まず自己紹介からお願いします。

中野: 中野幸太(なかのこうた)です。岩田小学校に来て2年目になります。その前は市役所の道路維持課に勤めていました。

長浜: 長浜建夫(ながはまたてお)です。定年退職後、再任用で岩田小学校に勤務して3年目になります。その前は細谷小学校に6年間勤めていました。もとは市役所の環境部に勤めていましたが、用務員を希望して今に至ります。

鳥井: では先生方と違い、市の公務員ということですね。

長浜: 豊橋市の用務員は、教育政策課の職員です。

鳥井: 早速お仕事の内容、1日の流れを教えてください。

中野: 主に学校環境の整備を中心とした仕事です。備品の修繕や本棚や机などの作製を行います。また、運動会などの学校行事に合わせて準備作業を行います。緊急的な対応として、扉や窓の破損など突発的な修繕も行っています。

鳥井: 安全・安心に学校生活を送る中で大切な役割ですね。

中野: まず朝一番に学校に来て鍵を開けるところから業務が始まります。そのあと職員室のごみを集めたり、印刷室のシュレッダーにかかったものの片づけをします。1日の仕事は校務主任の大須賀先生から、学校内の直してほしいところなどの指示がありますので、状況を確認し合せて仕事を進めていきます。あと危険箇所がないかの点検も大事な仕事です。

鳥井: 1年を通じて一番大変な時期はありますか。

長浜: 夏は雑草を取るのが大変ですね。放っておくと大変なので毎日雑草との闘いです。あと樹木の剪定もします。

中野: 冬は落ち葉の回収もします。先日もランフェスがありましたが、前日に雨が降ったので滑ると危ないので水たまりを乾くまで吸い取り、落ち葉も集めて処分しました。

鳥井: 児童のための安全なコースづくり、ありがとうございます。余談ですが今は焼却炉ってありませんよね。

長浜: ないですね。普段の掃除で出るごみも、燃えるごみ、プラごみなど分別してから資源化センターに持ち込みます。

中野: 安全面もそうですが、環境に配慮する点でないですね。

鳥井: 児童と関わる場面などありますか。

中野: 実は長浜さんは毎年1年生に、どんぐり名人として、どんぐりを使ってコマ作りを教えたりコマ勝負したりしています。

鳥井: そうですか! 自然相手の遊びも大切ですし、子どもはどんぐり大好きなので、喜ぶますね。

中野: 私は大工の経験があるので、図工の時間にノコギリの正しい使い方、効率のよい切り方を教えることがあります。

鳥井: 安全な使い方を学ぶことも大切ですね。お仕事で特に気

をつけている点はありますか。  
長浜: 車を使って仕事をするのも多いので、安全運転はもとより、校内では児童と接触しないよう気をつけています。  
中野: 机や棚を作ることがありますが、子ども目線に立って危ないと思われる部分、例えば角は絶対に作らないなど使いやすいよう、ケガのないよう配慮しています。

鳥井: どんな小学生時代でしたか。  
中野: 賀茂小学校でしたが、竹やぶで秘密基地作ったり、エアガンで撃ち合いをしたり、野球をしたりする。とにかく外で遊んでいました。

長浜: 高根小学校でしたが、山でアケビを探ったり、海で遊んでいました。  
鳥井: 私たちの子どもの頃は外遊びが中心ですね。岩田小学校の児童の印象を教えてください。

長浜: 大人っぽい子が多いと思いました。ものの考え方や人との接し方など、しっかりしていると感じます。

中野: 先ほども鉄棒と一緒に遊んでいましたが、みんな人懐っこく人見知りもあまりなく、岩田の子は大好きです。

鳥井: 先生方も明るく活発なので親としても良い学校だと思えます。あと好きな給食はありますか。

長浜: ミートソースのソフト麺が好きです。  
中野: 麻婆豆腐、あと菜めしが好きです。

鳥井: 最後になりますが児童たちにエールを、保護者に一言あればお願いします。

中野: 一つのものに対して、こうだ!と決めつけるのではなくいろいろな角度から物事を見て考える力、創造力を大きくもってほしいと思います。

長浜: 自分にとって嫌なことを、相手に対してしないこと。これができれば大体のことは解決するのかなと思います。相手を思いやる心を常に持って欲しいと思います。保護者の方も子どもたちは生き生きと学校生活を楽しんでいます。ぜひ温かい目で見守ってあげてください。

中野: 保護者の方も見かけたら声を気軽にかけてくださいね。あと、私たちも気づかないことも、皆さんから見て改善してほしいことなどあると思います。お子さんとの会話の中でそんなことがあれば、お声かけください。

鳥井: 本日はありがとうございました。



【 左: 中野さん 右: 長浜さん 】

(※今回も撮影時のみマスクを外しています)